

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		適切であると考えている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	3		配置基準に加えて2名の加配職員がいる。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	3	1	活動毎に場所がわかるよう印等を付けている。バリアフリー化はなされていないが、事故のリスクを減らすよう設備や業務マニュアルを作成している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	5			清潔に配慮している。活動に合わせて場所を決めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	3	1	業務改善の必要が出た時は職員間で話し合い、改善している。	必要が出た時に行っている為、定期的に行う機会を作っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		5			保護者等向けの評価表は今年度から行っている。今後ご意見を元に改善につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4			事業所向け自己評価表及び保護者向け自己評価表の公表は今年度から行う予定である。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	3		第三者による外部評価は行っていない。今後、検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	1	外部研修は可能な限り参加している。	今後も外部研修には積極的に参加していく他、内部研修も行っていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	1		アセスメント・ニーズを把握し、計画の作成を行っている。	今以上に職員から見た児童の情報をアセスメントとして反映させていく必要を感じている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1	標準化されたアセスメントツールを使用している。	改善の必要があれば検討していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			児童発達支援ガイドラインに基づいて支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			児童発達支援計画に沿って支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			起案は複数の職員で検討している。	
	15	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	5			プログラムの評価を行い必要に応じて改善している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5			児童の課題に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成している。	

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			毎朝のミーティング内で支援の内容や役割分担について確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4		必ずでは無いが、必要に応じて支援内容の振り返りをしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎日の記録を元に支援の検証・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		定期的なモニタリングの他、必要に応じて見直しをしている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3			サービス担当者会議はこれまで開催されていないが、当該児童の状況に精通したものが参加するようにしたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	2	関係機関と連携はなされていない。	他機関と繋がっている児童がいる場合は必要に応じて連携をとっていきたい。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3			移行支援を行う児童がいなかったが、必要に応じて連携をとっていく。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	1	2		移行支援を行う児童がいなかったが、必要に応じて連携をとっていく。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		児童発達支援センター開催の研修や見学を行い、職員のスキルアップを図っている。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3		障がいの有無に関わらず、多くの児童と関わる機会を検討していく。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		3	2	日程が合わず、参加が出来ていなかった。	今後は積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡ノートや送迎時に直接情報交換を行っている。	時間を設けて面談する事が出来ていない為、今後実施していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		2	3	今年度は実施に至っていない。	来年度以降は実施していく予定。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			丁寧な説明を心がけている。	より分かり易い説明となるよう工夫していきたい。
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	1		現在は送迎時に説明してお渡ししている。	今後は、保護者と直接説明する時間を設けていきたい。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3		送迎時の保護者との会話の中で必要であれば助言を行っている。	上記の様に直接面談の時間を設け相談の応じられるようにしていきたい。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	今年度は実施に至っていない。	来年度の実施に向けて検討していきたい。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			相談があった場合は出来だけ保護者からの意向にそうよう検討し、早く回答するよう心掛けている。	

保護者への説明責任等	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		毎月おたよりを発行している他、ホームページ上には毎日の様子をブログで紹介している。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			十分に注意を払って管理している。	
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			児童の特性を考えて配慮している。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	1	開所前に内覧会を実施している。	今後も何か地域に向けた催しを検討していきたい。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	2	1	策定している。	周知が不完全な為、玄関の掲示などを行う。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	2	1	スタッフ内での情報伝達研修にとどまっている。	今後は年に2回以上の防災訓練を実施していく。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5			利用時やその都度、保護者からの情報を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	利用開始時に保護者からの聞き取りを元に対応している。	必要があれば医師からの指示書を元に対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハット報告は回覧し、会議内で話し合っている。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		虐待の研修を受講し、事業所内で伝達研修を行っている。	
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3		現在まで身体拘束を行った事は無いが、やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み、進めていく。		